

出会える旅へ

記憶の風景に

遠い



しまね
棚田
めぐり旅

Shimane
Tanada
Journey



しまね棚田めぐり旅

山王寺

さんのうじ

雲南市

うんなんし

日本の
田選
日棚百

こんな自然の中で
過ごせたことは、
とても貴重な経験に
なりました。

田んぼの
学校

雲海がきれいなふるさとの原風景。伝統文化の神楽が伝わる標高300mからの眺望は絶景。

棚田オーナー

【募集】毎年4月末まで
【作業】田植え(6月)
稲刈り(9月)
収穫祭(11月)

【料金】1区画(約100m)30,000円/年
【特典】米60kg

棚田トラスト

【料金】10,000円/年/口
【特典】米5kg/口、野菜宅配



一言
ポイント

棚田百選に選ばれたのをきっかけに、毎年田んぼの学校や棚田祭りを開催し、青空市場で新鮮な野菜等の直売にも取り組んでいます。

島根県無形文化財指定の神楽である山王寺神楽が伝承されており、地域の暮らしの中に豊かな伝統文化が根付いています。



6月

田植えコース
(古代米の田植えなど)



9月

稲刈りコース
(古代米の稲刈り)

いつまでも、
この美しい棚田が
残ることを
願っています。



11月

収穫祭コース
(脱穀と粳すりなど)
＜棚田祭りも開催＞

▲H26年度 美の里づくりコンクール
審査会特別賞

山王寺本郷棚田
実行委員会

田んぼの学校や棚田祭りで地域外から家族が来られたり、子どもたちの声を聞けるようになったことが刺激になりました。自分たちの住むところをきれいな景色として見てもらいたいという気持ちから、棚田の保全にみんなが取り組むようになりました。
私たち親が一生懸命やっている姿を地区外に住んでいる子どもたちに見せることで、将来は自分たちがこの土地を守つていくという気持ちを引き継いでもらいたいと思います。

DATA

【所在地】雲南市大東町山王寺

「JR松江駅」から車で約30分・「JR出雲大東駅」から車で約15分

【保全組織】山王寺本郷棚田実行委員会

【問合せ先】雲南市農林振興部農林土木課 ☎0854-40-1053

【雲南市役所ホームページ】<http://www.city.unnan.shimane.jp/>

【概要】田畑の枚数:200枚 面積:19ha 農家数:26戸

起源:戦国時代～江戸時代 棚田の標高差:約120m

【イベント】田んぼの学校 棚田祭り

【棚田米】山王寺棚田舞 問合せ先:山王寺本郷棚田実行委員会(担当:高島)

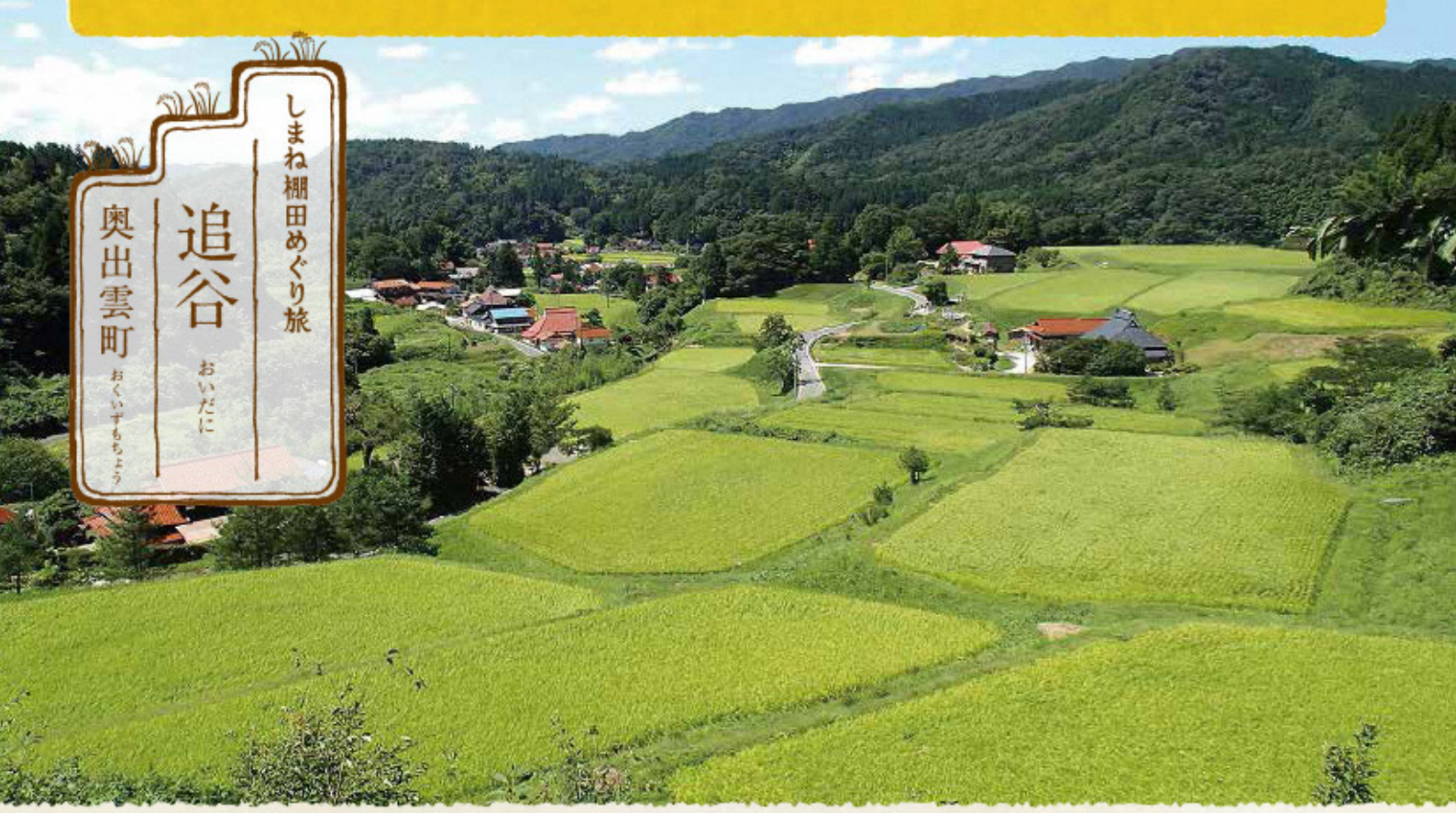
☎0854-43-5849

しまねの
棚田カード
参加地区

しまね棚田めぐり旅

追谷
おいだに

奥出雲町
おくいずもちょう



追谷の棚田は、船通山の麓、八俣の大蛇退治で素戔鳴尊(スサノオノミコト)が高天原から追放されて地上に降りてきた鳥上の地である、奥出雲町竹崎地区に位置しています。この棚田は、「たたら製鉄」の名残で、江戸から明治にかけて、山を切り崩して水の勢いを利用する鉄穴(かな)流しで砂鉄採取をしていた場所で、この砂鉄採取跡地を棚田にし、米作りを行っています。

国の重要文化的景観「奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観(2014年3月18日文科科学省)」、日本遺産「出雲國たたら風土記～鉄づくり千年が生んだ物語～(2016年4月25日文化庁)」、日本農業遺産「たたら製鉄に由来する奥出雲の資源循環型農業(2019年2月15日農林水産省)」に選定・認定され、「たたら灯」やフォトコンテストなどのイベントを行うなど、交流人口の創出や棚田保全に努めています。

一言ポイント

毎年春、秋と10000本のライトで棚田を灯すライトアップイベント「たたら灯」を開催しております。

県外からも多くの方が訪れ、季節により変わりゆく棚田を写真におさめていらっしゃいます。

鉄師卜藏家がたたら操業をおこなった追谷地区。この地で江戸時代から明治時代にかけて、山を切り崩して水の勢いを利用する鉄穴(かな)流し。これに使われていた水路を利用して今もなお生活排水の入らない良質な水とミネラルが多く含まれる土壌で「源流仁多米こしひかり」が作られています。



DATA

【所在地】仁多郡奥出雲町大呂
JR松江駅から車で約70分 中国自動車道「東城IC」から車で約60分
【問合せ先・保全組織】一般社団法人 奥出雲地域活性化プロジェクト
TEL/FAX0854-52-0063(鉄師卜藏家 鈿の舎)
奥出雲町農林土木課 ☎0854-52-2673

【概要】棚田の枚数:37枚 面積:4ha 農家数:23戸
起源:江戸時代～
【イベント】カフェたたらのいえ
たたら灯
新米イベント
【棚田米】源流仁多米こしひかり

しまねの棚田カード参加地区

しまね棚田めぐり旅

大原新田

おおはらしんでん

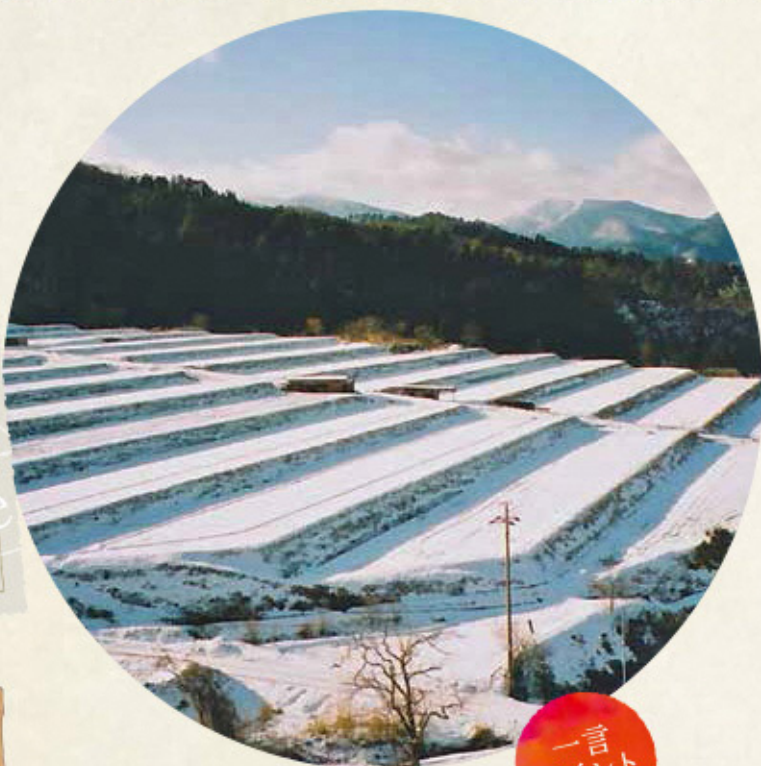
奥出雲町

おくいずもまち

日本の田選
百棚



江戸時代に鉄師「絲原家」が私財を投入し、鉄穴(かな)流し(砂鉄採取地跡)によってできた土地を畑に造成し、そして田んぼに整備して現在の形になりました。当時の造成技術の高さがうかがわれます。



「棚田への思い」

その昔、山を切り開き、炭を焼いた人々、遠い山から水を引き、砂鉄を採取した人々、たたらを吹き、和鉄をつくりあげた人々、そんな苦労を味わいながら家族で助けあい、この土地を残してくれた先祖たち。先祖への感謝の気持ちで米づくりに精を込めた人々がここにいます。私たちの願いはこの棚田の歴史と先祖への思いを後世に伝えていくことです。

大原新田棚田
保全管理委員会



好評販売中!

「箴上清酒合名会社」が、大原新田で酒米を契約栽培し、「棚田五百万石」「深山の香」のブランドで販売中。

一言ポイント

雑誌に掲載されたり、テレビドラマ「砂の器」の冬景色のロケ地になりました。展望台からの撮影が多く、人気の撮影ポイントになっています。

DATA

【所在地】仁多郡奥出雲町大馬木大原
「JR松江駅」から車で約60分
中国自動車道「東城IC」から車で約60分
【保全組織】大原新田棚田保全管理委員会
【問合せ先】奥出雲町農林土木課 ☎0854-52-2673

【概要】田畑の枚数:38枚 面積:4.9ha
農家数:6戸 起源:江戸時代後期～

国の重要文化的景観「奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観(2014年3月18日文部科学省)」
日本遺産「出雲國たたら風土記～鉄づくり千年が生んだ物語～(2016年4月25日文化庁)」
日本農業遺産「たたら製鉄に由来する奥出雲の資源循環型農業(2019年2月15日農林水産省)」

しまねの
棚田カード
参加地区

しまね棚田めぐり旅

大田市 おおだし

ヨズクの里



銀山街道要衝の地「西田」の「ヨズクの里」棚田は、日本のコメ作り100選にも選ばれた棚田です。

世界遺産に登録された「石見銀山」から銀や物資を運んだ「銀山街道」にある「西田」は、西田千軒と言われたほどの街道の宿場町として栄えました。

会員
募集中

酒仙蔵人・五郎之会

夢のある米作り酒造り集団「酒仙蔵人・五郎之会」は、会員120名で、幻の酒米「亀の尾」を栽培し、自分たちだけの純米酒造りによる交流活動を展開しています。当然、酒米は、ヨズクハデにかけ、「西田ヨズクハデ保存会」とともに棚田景観の保全にも取り組んでいます。

【問合せ先】若林酒造(有) ☎0855-65-2007 FAX.0855-65-3549

○五郎之会の活動及び会員募集は、若林酒造のホームページでも紹介しています。

<http://www.kaishun.co.jp>

E-mail:kaishun@s5.dion.ne.jp



秋の風物詩「ヨズクハデ」

ヨズクとは、梟(フクロウ)のこと。四角錐の塔に巨大な梟が羽を休めて、うずくまっているように見えることから、「ヨズクハデ」と呼ばれるようになりました。高さは約5メートルあり、一基のハデに稲束が500束、約5俵分が架けられます。8月下旬～10月中旬に見ることができます。

西田ヨズクハデ
保存会

全国でもここだけで見られることのできない稲ハデ「ヨズクハデ」は、平成21年1月にその製作技術が国の重要無形文化財に選定されました。現在、「西田ヨズクハデ保存会」が中心となり、後世へ技術を伝え、その景観の保全に取り組んでいます。



DATA

【所在地】大田市温泉津町西田

「JR大田市駅」から車で約35分

【保全組織】西田ヨズクハデ保存会 酒仙蔵人・五郎之会

【問合せ先】大田市産業振興部農林水産課 ☎0854-82-1600(代)

【概要】田畑の枚数:50枚 面積:6ha

農家数:30戸 起源:江戸時代

【イベント】酒米の田植え会・稲刈り会・寒仕込み体験会・蔵出し会
ヨズクハデライトアップ・棚田ウォーク

しまねの
棚田カード
参加地区

しまね棚田めぐり旅

上田・平佐

うえたひらさ

邑南町

おおなんちょう



国土を守り、命を育んできた棚田の一段一段には、先人の汗と涙がこめられています。江戸時代初期、砂鉄採取後に出た石を積んで田んぼにしたのがこの地の棚田の始まりであると伝えられています。清らかな湧き水と寒暖の差を活かして育てられたおいしい米がとれます。



棚田オーナー

- 【募集数】10区画程度(毎年1月~3月募集)
- 【作業】田植え(5月)・草取り(6~7月)・稲刈り(9月)
- 【料金】1区画(100㎡)39,000円/年
- 【特典】収穫米(100㎡あたり約40kg)
農産物を安価で購入など



▲はでかけ



▲田植え



棚田オーナーの声

「自分で米を作ることで食物のありがたみや、四季の移ろいを感じる事ができました。」

「田舎でいろいろな人と触れ合いながら、ほんの少し肩の力を抜いてリフレッシュできました。」

「自分の日常には無い空間が味わえ、自分で手をかけた米が食べられることが魅力ですね。」



【所在地】邑智郡邑南町上田
中国自動車道「三次IC」から車で約40分

【保全組織】上田・平佐棚田保存会

【問合せ先】上田・平佐棚田保存会 会長 永井 智行 ☎090-7775-1982

【概要】田畑の枚数:600枚 面積:30ha
農家数:25戸 起源:近世(江戸時代初期)

【棚田米】上田・平佐棚田龍王米
問合せ先:上田・平佐棚田保存会(担当:永井)
☎090-7775-1982





小さな集落と共に息づいてきた棚田。その棚田を囲むように生活道路が造られ、どこからでもすばらしい棚田の風景が望めます。



▲稲刈り(はで)

神谷棚田 保全組合
 棚田の石積みと周辺の野山がかもし出す景色は、なくなりつつある田舎の原風景そのものです。
 集落の高齢化が進むなか、「日本の棚田百選」に選ばれたことをきっかけに、集落ぐるみで棚田の保全活動に取り組んでいます。



DATA

【所在地】邑智郡邑南町上口羽
 中国自動車道「三次IC」から車で約40分

【保全組織】神谷棚田保全組合

【問合せ先】神谷棚田保全組合事務局
 福田誠治 ☎0855-87-0249, 090-1680-4722

【概要】田畑の枚数:80枚 面積:6ha
 農家数:15戸 起源:近世(戦国時代~江戸時代)

【棚田米】神谷棚田米
 問合せ先:神谷棚田保全組合(担当:福田)
 ☎0855-87-0249, 090-1680-4722

しまねの
 棚田カード
 参加地区



来尾地区は山の斜面が急なため、石を積み上げて田んぼを造らないと面積がとれないことから、昔の人々が苦勞して造り上げたのがこの棚田です。棚田は昔の人々の知恵の結集なのです。



工夫された石垣

石垣は大小の石を組み合わせることで築かれています。山の斜面が急な来尾地区では石垣が高く、高さが3m~5mあるものもあります。中には、階段になるように石を突き出して積み上げている石垣もあります。

ほたるこい祭り



地元小学生と高齢者の手作りのあんどんとホタルのやさしい光が幻想的な夜を演出します。



【所在地】浜田市旭町来尾
浜田自動車道「瑞穂IC」から車で約20分
【問合せ先】浜田市旭支所産業建設課 ☎0855-45-1437

【概要】田畑の枚数:14枚 面積:0.45ha
農家数:17戸 起源:江戸時代
【イベント】ほたるこい祭り(6月)

しまねの
棚田カード
参加地区



都川の石垣は、自然石をそのまま積み上げる野面積（のづらづみ）で、なかには強度を重く考えた穴太積（あのうづみ）といわれる高さ3～4mを超える大石垣も存在します。

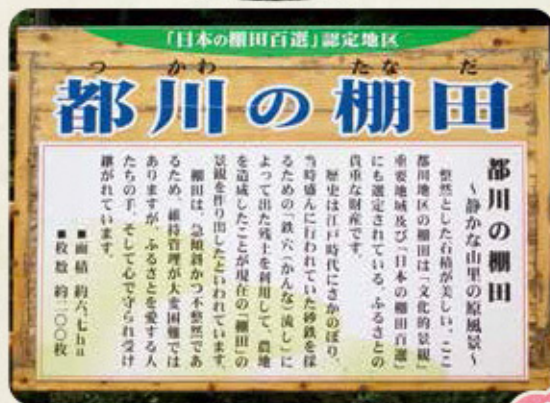
裏込めは、鉄穴（かんな）流しの技術を応用した洗い込み法といわれる方法で築かれました。また、その時期は江戸末期と伝えています。

まるで城塞のように整然と佇み重厚な石垣景観をみせています。



一言ポイント

今からおよそ800年前、京都から開拓のため夫婦がこの地に移り住み、そこを流れる川が京都の加茂川に似ていたことから、この地を「都川（つかわ）」と呼び、川を「都川（みやこがわ）」と呼ぶことにしました。これが都川の始まりといわれています。



しまねの棚田カード参加地区

DATA

【所在地】浜田市旭町都川
浜田自動車道「旭IC」から車で約20分
【問合せ先】浜田市旭支所産業建設課 ☎0855-45-1437

【概要】田畑の枚数:50枚 面積:4.4ha
農家数:11戸 起源:江戸時代

平成24年度
美の里づくりコンクール
農林水産大臣賞
受賞



しまね棚田めぐり旅

坂本

濱田市
はまだし

さかもと

坂本米の生産地「坂本」は古来より稲積原と呼ばれ、土地が高燥で日光がよくいきわたり、水は清く、土質が米作に適して、そのうえ米穀貯蔵上よいところといわれてきました。

水源となる雲月山は全山が花崗岩風化土(マサ土)でなりたち、薄く火山灰に覆われています。1800年ごろから鉄穴(かんな)流しが行われ、先人たちは、砂鉄を採取した際に発生した土砂と石材を利用して坂本川を中心に耕地を広げていきました。

人々が牛を使い、刈り取った芝草とたい肥をすきこんで苦勞して耕作を続けた小さな棚田は、昭和53年～昭和58年に圃場整備を行い1枚あたり1,000㎡規模に拡大されました。



春の田植え直後のみずみずしい圃場の連なり、黄金色の稲穂が輝く実りの秋、田舎の原風景に出会える場所です。

浜田・旭のうまいもん『坂本』(坂本米)

名峰雲月山から流れる清らかな水には、ブナやミズナラの落ち葉から溶け出したミネラルが含まれ、鉄分を含んだ土壌やと昼夜の寒暖差により良質なお米が育まれます。

強い甘みと豊かな香りが特徴で、ご飯そのものの味をしっかりと味わえます。

“おかわりもう一杯”



平成31年1月に「農事組合法人さかもとのもと」を設立しました。

【所在地】 浜田市旭町坂本
浜田自動車道「旭IC」から車で約15分
【保全組織】 坂本自治会・農事組合法人さかもとのもと
【問合せ先】 浜田市旭支所産業建設課
☎0855-45-1437

【概要】 田畑の枚数:191枚、面積:18ha
農家数:35戸 起源:江戸時代(1800年頃)
【米販売】 四つ葉振興会
☎0855-45-1757(今市公民館内)

しまねの
棚田カード
参加地区

DATA

しまね棚田めぐり旅

室谷

浜田市
はまだし

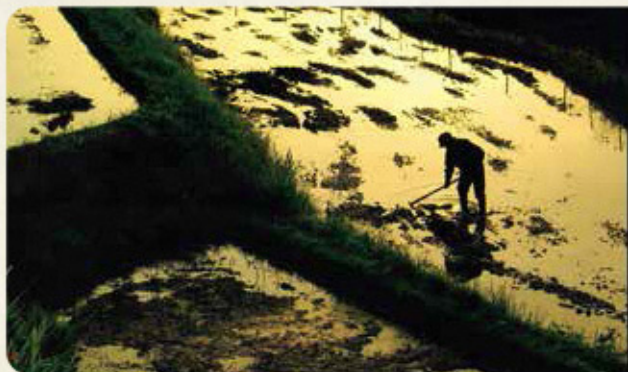
むろだに

日本の
田選
百棚



今年も棚田には黄金色に輝く稲穂が実り、その向こうには日本海の大海原が望めます。

江戸時代以前の鉄穴(かんな)流しによって出来た、たくさんの窪地を水田にしたものが棚田の始まりだと思われます。大麻山神社の庭園と大麻山麓には「石郷路(いしごうろ)」と呼ばれる石英閃緑岩の岩海が点在し遊歩道で散策できます。大麻山の麓に広がる棚田と日本海を眺望できます。



棚田
まつり



迫力の石見神楽

私たちは、棚田を耕し
土づくりに励み、美味し
いお米が収穫できるよう
努めています。棚田と自
然に囲まれた地形のな
か、人々が室谷を訪れ、棚
田を愛でる。それが棚田
を守る原動力となってい
ます。そんな室谷は今日
も元気です。

是非、見どころいっぱい
の室谷にお出掛けくだ
さい。

両谷連合自治会長

【時期】10月中旬～下旬の日曜日
【内容】棚田散策会、石見神楽、お米・野菜の販売など



室谷棚田シンボルマーク
石正美術館作成



▲室谷の棚田米

DATA

【所在地】浜田市三隅町室谷
山陰道 浜田・三隅道路「石見三隅IC」から車で前10分
【保全組織】両谷連合自治会
【問合せ先】浜田市三隅支所産業建設課 ☎0855-32-2803

【概要】田畑の枚数:約1,000枚 面積:20ha
農家数:50戸 起源:江戸時代以前～
【イベント】棚田まつり
【棚田米】室谷の棚田米
問合せ先:米作り研究会代表 齋藤久行 ☎0855-34-0856

平成24年度
美の里づくりコンクール
審査会特別賞
受賞

しまねの
棚田カード
参加地区



しまね棚田めぐり旅

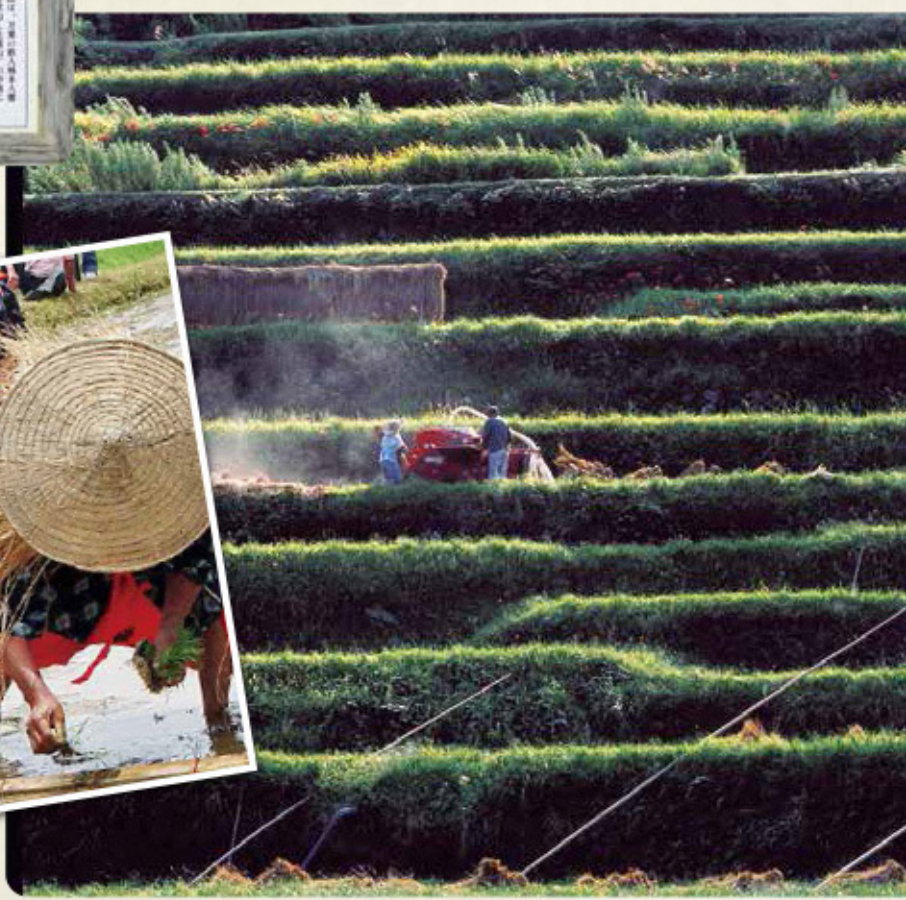
日本の田選
日棚百

中垣内
なががうち

益田市
ますだし



万葉の歌人「柿本人麿」の歌にもでてくる打歌山(うつうたやま)
【大道山の別名】の中腹にひろがる石積の棚田です。



DATA

【所在地】益田市中垣内町
 「JR益田駅」から車で約25分 中国自動車道「六日市IC」から車で約90分
 【問合せ先】益田市農林水産課 ☎0856-31-0316
 【益田市ホームページ】<http://www.city.masuda.lg.jp/>

【概要】田畑の枚数:376枚 面積:6.2ha
 起源:平安時代～室町時代

しまね棚田めぐり旅

大井谷

吉賀町 よしかちょう

日本の田棚百選



大井谷は、古文書「吉賀記」によると、今からおよそ600年前に大内氏(山口)に仕えた三浦一族がこの地に入り、開拓したのが始まりと言われています。以来、室町時代から江戸時代にかけてつくられた棚田が今も600枚以上残っています。

地域全戸が参加する「助(たすけ)はんどうの会」では、棚田オーナー制度を通じた都市住民との交流に取り組み、棚田を活かした地域づくりを進めています。



助(たすけ)はんどう

大井谷地区の一番上の屋敷の横に据えてある直径1.2m、深さ30cmの石の水がめのことで、その昔干ばつの時にここだけにわずかに溜まる水を飲んで住民が生き延びたことから「助(たすけ)はんどう」と呼ばれるようになりました。はんどうとは「水がめ」のことです。



▲棚田まつり



▶柿木小学生による田植え

棚田オーナー

- 【募集数】25区画程度(随時募集)
- 【作業】田植え(5月中旬)・草取り(6月下旬)・稲刈り(9月中旬)
- 【料金】基本料金:36,000円/年
面積によって変わります(基本面積100㎡)
- 【特典】収穫米(約30kg)、農産物の宅配など



田植えや稲刈り体験ができる!

棚田トラスト

- 【募集数】無制限
- 【料金】①棚田米コース 1口 10,000円 【特典】大井谷棚田の新米5kg
②しまね棚田カードコース 1口 1,000円 【特典】しまねの棚田カード

助(たすけ)はんどうの会

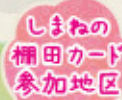
600年前に先祖が築いた棚田を「自分の代で荒らしてはならぬ」という思いで耕し続け、次の世代に受け継ぐために棚田保全に努めてきました。

棚田オーナーや棚田まつりでの来訪者との交流等を通して、厳しい農作業も楽しくできるようになり、棚田が自分たちの宝物になりました。



【所在地】鹿足郡吉賀町柿木村白谷
JR益田駅から車で約60分 中国自動車道「六日市IC」から車で約40分
【保全組織】助はんどうの会
【問合せ先】吉賀町産業課 ☎0856-79-2213
【吉賀町ホームページ】http://www.town.yoshika.lg.jp/

【概要】田畑の枚数:600枚 面積:6ha
農家数:13戸 起源:室町時代~
【棚田米】大井谷棚田米
問合せ先:道の駅かきのきむら ☎0856-79-8024



しまねの棚田カード

美しい景観を作り出し、訪れる人の心に安らぎを与える棚田は、心血を注いで棚田を拓いてきた先人の想いを引き継ぐ農業者が、農地を守るという信念の下、経済性や効率性によることなく地域で協働しながら農作業に取り組むことによって保全され、地域固有の風土を築き上げてきました。

しかし近年、農業者の高齢化や後継者不足等に伴い棚田の耕作放棄が進んでおり、このままでは美味しいお米や野菜などの食料供給力が低下するだけでなく、地すべり災害の増加や豊かな生態系の損失など、棚田の有する公益的な機能が失われることが懸念されています。

このような県民共有の財産である棚田を将来にわたって守り続けるためには、農業者だけでなく多くの方々のサポートが必要であり、島根の棚田の魅力に直接触れていただくツールとして棚田カードが誕生しました。

『しまねの棚田カード2019』は、全12種類(12地域)のカードがあり、棚田の基本データや手に入れたい「棚田の逸品」、棚田地域を訪れ住んでみたいくなるような「周辺地域の魅力」など情報満載です。是非、このカードを手に入れ、美しい棚田のことを想像してみてください。



カード掲載のQRコードを読み込んでいただければ、「しまね棚田元気ネット」へ接続し、さらなる棚田情報にめぐり会えます。

「しまねの棚田カード2019」は、 島根の棚田を支援して下さる方に配布します。

支援内容

- ・棚田ボランティアへの参加(草刈り等)
- ・棚田オーナー会員への登録
- ・棚田トラスト会員への登録
- ・棚田イベントへの参加
(田植え、稲刈り、ウォークラリー、田舎体験、棚田ツアー参加等)
- ・棚田地域の特産品購入 など

さらに!

「しまねの棚田カード2019」を各地で開催される指定の棚田祭り等に持参されると、特典が受けられます。

しまねの棚田 検索

農林水産省においても島根県など各府県担当者と「棚田カードプロジェクトチーム」を立ち上げ、棚田地域を盛り上げ、活性化させる手段として、全国棚田カードを作成されました。詳しくは「棚田に恋」で検索

棚田の多面的機能

多面的機能とは 農業・農村にはお米や野菜などを作るだけでなくいろいろな働きがあります。

洪水が起きないようにする



田んぼはあぜで田んぼ囲まれているので水をためることができる。



大雨がふっても川があふれないことがあるけどなぜ？

田畑は、水を一時的にためることができます。

田は周りをあぜで囲まれているため、また畑は土のすき間が多いため、水をためることができます。このため、洪水を防ぐことにも役立っています。大雨がふった時に田に余分にためられる水量は、全国で約50億㎡^{※1}になるともいわれています。これは東京ドーム(124万㎡)^{※2}の約4,000杯に相当します。

※1) 日本学術会議「地球環境・人間生活にかかわる農業及び森林の多面的な機能の評価について(答申)」(平成13年11月)及び関連付属資料
※2) 東京ドームシティホームページ

土砂くずれや土の流出を防ぐ

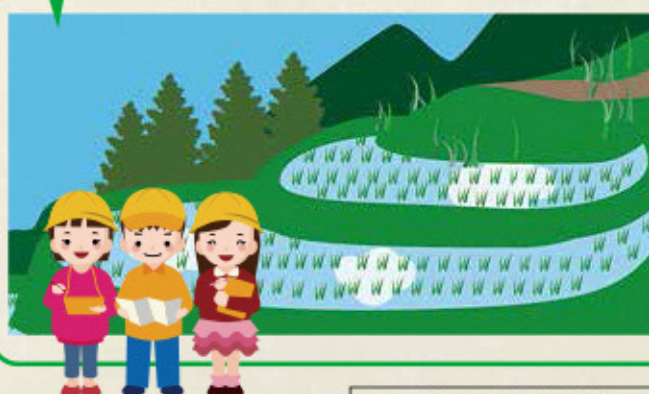


田で米を作っているのは、土砂くずれを防ぐことと関係がある？

日ごろの手入れと耕すことで、土砂くずれを防いでいます。

田畑はこまめに手入れをすることで、ひびわれなどを早期に発見することができます。また耕すことで、田畑にためられた水はゆっくりと地下にしみこむようになるため、地下水が急に増えるのをおさえ、土砂くずれなどの災害を防ぐことにつながります。また田では水をはることで、雨や風が直接土に当たらず、土が流れ出るのを防いでいます。

美しい風景をつくる



このきれいな風景はどうやってできたのだろう？

農業の営みや家屋、里山が、美しい風景をつくっています。

農村では農業が営まれることによって、作物や農地、農家の家屋、周辺の水辺や里山が一体となって、美しい風景をつくっています。

詳しくは、農林水産省ホームページをご覧ください。
URL:http://maff.go.jp/j/nousin/noukan/nougyo_kinou/



アクセスマップ ACCESS MAP



イベントカレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
山王寺	田んぼの学校 田植えコース						田んぼの学校 稲刈りコース	棚田まつり				
追谷	カフェたたらのいえ営業											
		たたら灯					たたら灯 新米イベント					
上田・平佐	棚田オーナー田植え				棚田オーナー稲刈り		棚田オーナー収穫祭					
ヨズクの里	酒米の田植え会				酒米の稲刈り会	棚田まつり	ヨズクハアライアップ	寒仕込み体験会 (会員限定)		棚田ウォーク (蔵出し試飲)		
都川	棚田トレッキング					やまびこ・ふれあい祭り						
室谷							棚田まつり					
大井谷	棚田オーナー春まつり(田植え) 柿木小学校オーナー田植え	棚田オーナー除草・交流会 柿木小学校オーナー除草				棚田オーナー収穫祭 柿木小学校オーナー稲刈り						

棚田の見学や写真撮影は大歓迎ですが、住民の暮らしの場でもあります。その際、私有地への無断立入はご遠慮くださいますようお願いいたします。
各オーナー制度の料金は、2019年現在のものです。

このパンフレットは島根県中山間地域等活性化基金(中山間ふるさと・水と土保全推進事業)で作成しました。

【発行】島根県農林水産部農村整備課
〒690-8501 島根県松江市殿町1番地
☎0852-22-6262 FAX0852-31-6274
E-mail:nouson@pref.shimane.lg.jp

しまね棚田元気ネット

しまねの棚田 検索

<http://shimane-tanada.net>